

琉球大学

「長寿の島」で生涯学習

シニア留学制度を導入

琉球大学(森田孟進学長)が、国立大学法人としては全国初となるシニア世代向けの短期留学プログラムを六月十九日から始める。大手旅行代理店JTBのグループ企業で、海外留学を専門に扱うJTBグローバルクラブ西日本(大阪市)が企画するもので、三十人の定員をほぼ満たす二十八人が応募している。

全国初、JTBが企画

滞在期間は七月二日まで二週間。平日の午前中は同大で沖縄の歴史や文化、健康長寿の秘けつなどについて学ぶほか、各学部の講座を一般学生に交じって聴講する。

午後からは伝統芸能を体験したり、ゴルフなどのスポーツプログラムに参加するほか、週末には、離島に渡るプログラムも企画されている。講座終了後には、学長名の

滞在期間は七月二日まで二週間。平日の午前中は同大で沖縄の歴史や文化、健康長寿の秘けつなどについて学ぶほか、各学部の講座を一般学生に交じって聴講する。

修了証書が与えられる。同プログラム参加者の年齢層は六十五歳前後で、約七割が女性。カルチャーセンターよりもワンランク上の勉強をしたいと考える人たちが多いようだ。最も興味を持つテーマのひとつ、健康を「長寿の島」としてのイメージが強い沖縄で学べるとあって、問い合わせや参加申し込みをした人たちからは「こういう企

企画したJTBグローバルクラブ西日本の宮崎数三代代表取締役常務は「西日本地区のみの広報だったのに、当初考えて

いたよりも反応がいい」と話し、今後は年に二、三回のペースで開講できる。

母校に100万寄付

琉大同総会

琉球大学同窓会(比嘉正幸会長)は九日、学生の課外活動支援金として百万円を琉球大学(森田孟進学長)に寄付した。

とで、本年度の入会金の納入率が昨年の倍近くになったことを説明。「昨年は入会金が思ったように集まらず、どうなることかと思ったが、良かった」などと森田学長に報告した。

席上、同会の宮城武久事務局長は、大学から入学案内を発送する際に同会への入会案内を同封してもらったこと

.....